

港湾施設の整備について

自衛隊馬毛島基地（仮称）では港湾施設の整備を予定しています。海底の地盤の状況を確認するため、引き続き、海上ボーリング調査を実施する予定です。

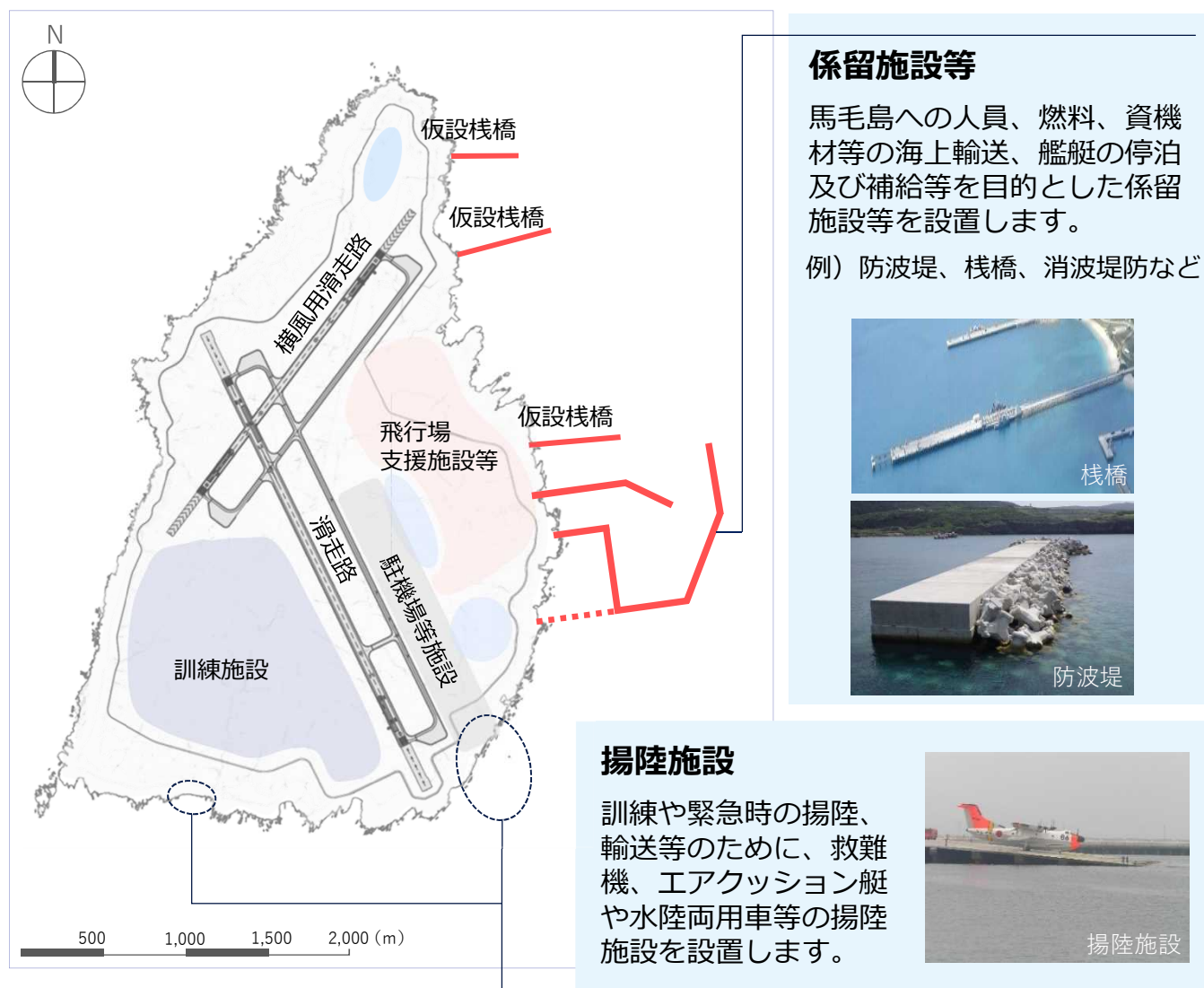
今後、港湾施設の配置を確定させるとともに、漁業補償調査を進めてまいります。



港湾施設の配置案

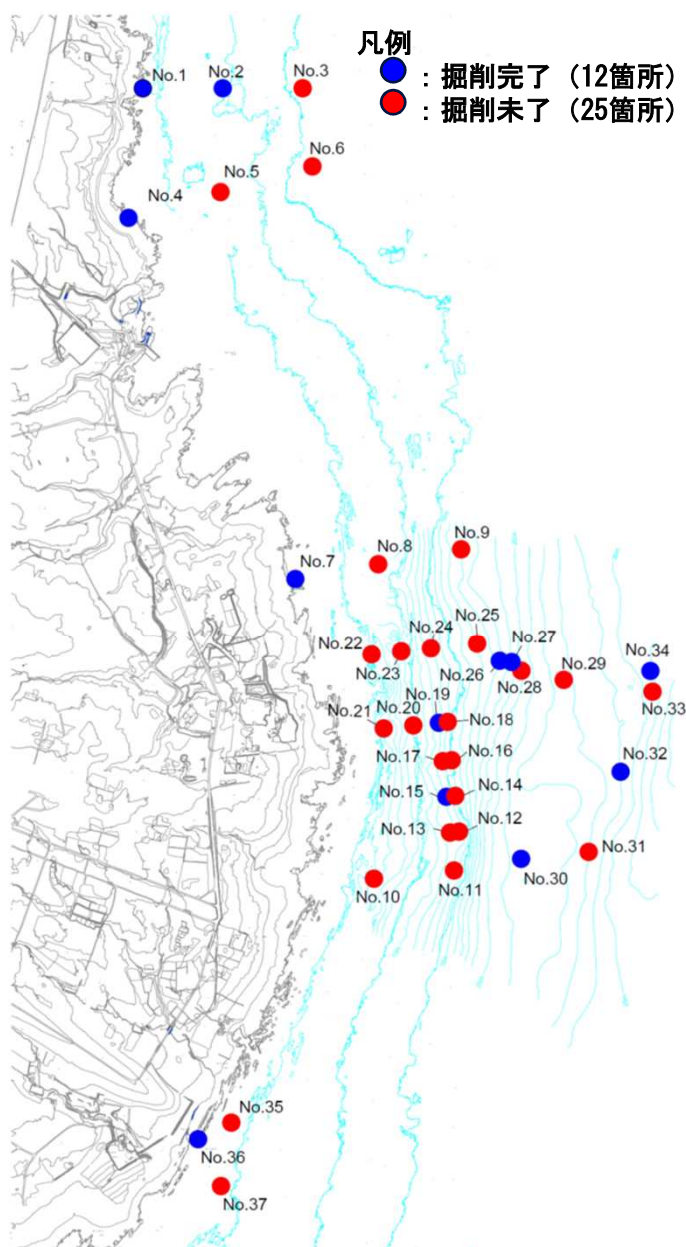
自衛隊馬毛島基地（仮称）に整備を予定している港湾施設の配置（係留施設等、揚陸施設及び仮設栈橋）は、これまでに終了している海上ボーリング調査等を踏まえると下図のイメージのとおりです。

今後の詳細な検討の中で、位置や形状は変更する可能性があります。



※写真はすべてイメージです。

海上ボーリング調査の進捗状況



▲ボーリング実施状況 (R3年5月末時点)

港湾施設の位置や形状を確定させるため、令和2年12月より海上ボーリング調査を進めてきました。

荒天等の影響から、当初予定していた5末日までに全ての箇所の調査を終えることができませんでした。

※令和3年5月末：37箇所中12箇所完了

今後も引き続き、未了箇所については調査を継続し、**港湾施設の位置や形状を確定**します。



▲ボーリング調査の様子

漁業補償

港湾施設整備のための海上工事に伴い、漁業経営上被る損失を国が補償します。

海上ボーリング調査及び詳細な検討とあわせて、必要な手続を進めています。漁業補償調査においては、各種補償額算定に必要な情報などについて、**漁業協同組合をはじめ関係機関の皆さまにご協力をお願いいたします。**